

今月のことば

昔はいつも誰かと
自分をくくらべて
いじけたりのをせたり
今もやっぱり
それをやるが
やったあと
それが見える

(浅田正作『骨道を行く』「見える」より)

龍谷大学非常勤講師
小池秀章 こいけひであき

私たちは、すぐに誰かと比べる癖があります。

「あの人は、なんてすごい人なんだろう。私にはとてもマネできない」

と落ち込んだり、

「あの人と比べれば、私の方が優秀だ」

とうぬぼれてみたり。

仏さまは、そんな私に、

「誰かと比べる必要はありませんよ。あなたはあなたのままで、すばらしい。あなたはあなたの人生を、いのちいっぱい生きればいいのですよ」

と、やさしく語りかけてくださいます。

仏さまの言葉を聞くと、

「誰とも比べる必要のない、この私がここにいるんだ。私は私のいのちを、いのちいっぱい生きていこう」

と勇気が湧いてきます。

しかし、だからといって、人と比べることを、すぐにやめられるわけではありません。「今も、やっぱり、それをやる」のです。ただ、昔と違うのは、「やったあと、それが見える」のです。

これはとても大きな違いです。それが見えた時、そこに今までと違った人生が、開けてくるのです。